

**EVENT SPIDER**

# イベントスパイダー ユーザーマニュアル

はじめに .....	4
イベントスパイダーとは？ .....	4
レコーダー編.....	5
1. レコーダー設置及び登録 .....	5
1.1. ネットワーク接続 .....	5
1.2. レコーダー情報の登録.....	5
1.3. 登録確認 .....	5
2. イベントスパイダー .....	6
2.1. 本体メニュー .....	6
2.1.1. 本体.....	7
2.1.2. 警戒モード .....	7
2.1.3. インプット .....	7
2.1.4. センサータイプ .....	7
2.1.5. モーション .....	7
2.1.6. 音声検知 .....	8
2.1.7. 警戒タイプ.....	8
2.1.8. アウトプット .....	8
2.1.9. 名称.....	8
2.1.10. 状態.....	10
2.1.11. ライブ画面の表示.....	10
2.2. I/Oコントローラー .....	11
2.2.1. I/Oコントローラー .....	12
2.2.2. I/Oコントローラー使用 .....	12
2.2.3. I/Oコントローラーパスワード.....	12
2.2.4. カメラ .....	12
2.2.5. センサータイプ .....	12
2.2.6. 警戒タイプ.....	12
2.2.7. アウトプット .....	12
2.2.8. 名称.....	13
2.2.9. 状態.....	13
2.2.10. ライブ画面の表示.....	13
2.2.11. アウトプット制御.....	13
3. I/Oコントローラー連動.....	14
3.1. I/Oコントローラー .....	14
3.2. I/Oコントローラー接続 .....	14

3.3.	IPアドレスの同期 .....	15
3.4.	I/Oコントローラーパスワード変更 .....	16
モバイルアプリ編 .....		17
1.	アプリケーションインストール .....	17
1.1.	アップルストア (App Store) .....	17
1.2.	グーグルプレイ (Google Store) .....	18
2.	会員登録 .....	19
2.1.	アプリケーションで会員登録 .....	19
2.2.	Mac住所で会員登録.....	21
3.	ログイン .....	22
3.1.	ログイン .....	22
3.2.	パスワード探し .....	22
4.	モバイルアプリ機能 .....	23
4.1.	機器登録 .....	23
5.	メイン画面 .....	24
5.1.	機器検索 .....	25
5.2.	機器名 .....	25
5.3.	メニュー .....	25
5.3.1.	DeviceDoC要請 .....	25
5.3.2.	DeviceDoC終了 .....	26
5.3.3.	機器名変更 .....	26
5.3.4.	機器接続情報 .....	27
5.3.5.	機器モニターミラーリング .....	27
5.3.6.	機器位置設定 .....	28
5.4.	IPタイプ .....	28
5.5.	ライブ画面へ移動.....	29
5.5.1.	機器名.....	30
5.5.2.	日時.....	30
5.5.3.	スクリーンショット.....	30
5.5.4.	動画.....	30
5.5.5.	モード.....	30
5.5.6.	PTZ.....	31
5.5.7.	プレーバック.....	31
5.5.7.1.	早戻し.....	32
5.5.7.2.	逆再生 .....	32

5.5.7.3.	一時停止 .....	32
5.5.7.4.	再生 .....	32
5.5.7.5.	早送り .....	32
5.5.7.6.	モード .....	32
5.5.7.7.	サーチ .....	33
5.5.7.8.	高速P.B .....	33
5.5.7.9.	ライブ .....	33
5.5.8.	警戒モード .....	34
5.5.9.	リレー出力 .....	34
5.5.10.	I/Oコントローラーアウトプット .....	35
5.5.11.	話す .....	35
5.5.12.	情報 .....	36
5.6.	地図 .....	36
5.7.	プッシュリスト .....	37
5.8.	セットアップ .....	38
5.8.1.	アプリケーション情報 .....	38
5.8.2.	プッシュ通知を使用 .....	38
5.8.2.1.	Push通知設定 .....	39
5.8.2.2.	強制アラーム使用 .....	40
5.8.2.3.	邪魔禁止時間 .....	41
5.8.3.	サブユーザーID管理 .....	41
5.8.3.1.	サブユーザー追加 .....	42
5.8.3.2.	サブユーザー削除 .....	43
5.8.3.3.	サブユーザー変更 .....	43
5.8.4.	情報修正 .....	44
5.8.5.	管理者情報 .....	44
5.8.6.	顧客センター .....	45
5.8.7.	画面表示設定 .....	45
5.8.8.	画面表示設定 .....	46
5.8.9.	ログアウト .....	46

# はじめに

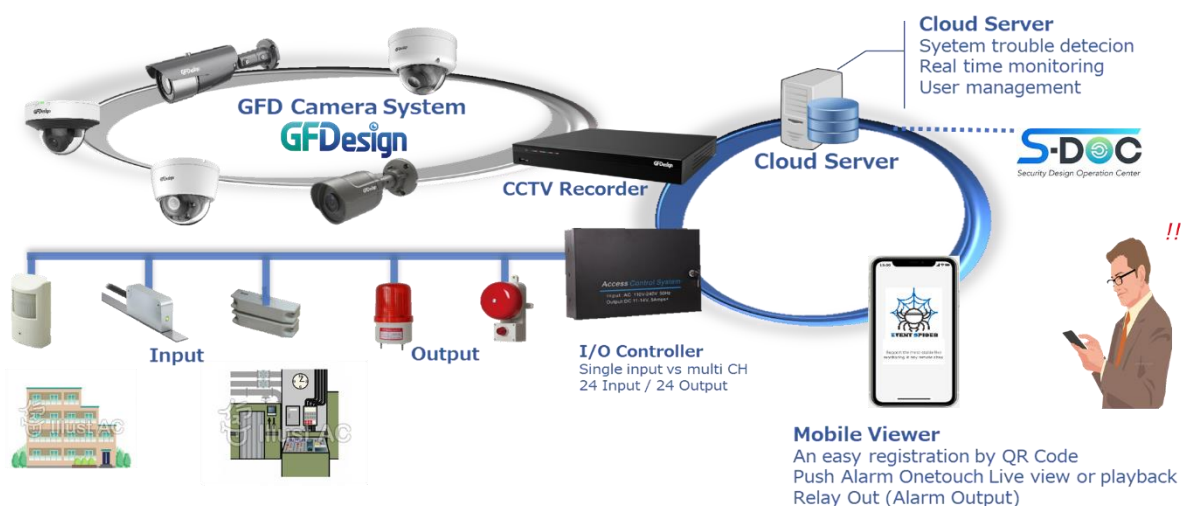
- ・ ご使用する前に必ず本書をよくお読みください。
- ・ 本書は「イベントスパイダーユーザーマニュアル」です。レコーダーの操作方法はご購入時に同梱されている「ユーザーマニュアル」をご参照ください。
- ・ 本書の絵は実物と異なる場合がございます。
- ・ 本書は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。
- ・ 最新バージョンのユーザーマニュアルはご購入先へ問い合わせ、もしくは弊社サービスホームページをご利用ください。(サービスホームページURL : <http://nextwinds.com>)

## イベントスパイダーとは？

セキュリティデザイン社の独自ブランドである、GFD監視カメラシステムに新しいサービスを提供できるようになりました。GFD上で設定できる各種イベント（システムアラーム）を検知、また外部からの信号を受け、予め設定したモバイル端末にメッセージ通知しリンクされたカメラの動画映像を確認することができます。リンク映像はイベントを検知する前(5sec)、後(5~300sec)の映像を設定することができます。

イベントスパイダーは、外部からの信号入力をGFDのDVR/NVRのカメラチャンネル分用意されています。チャンネル数以上の入力や複雑なカメラリンク、アウトプットが必要な場合、I/Oコントローラーユニットを加えることにより24入力、24出力、1入力に対して複数のカメラの連動が可能になります。

システム異常時の際等、イベントスパイダー内に搭載されているデバイスドック機能を使うことで、当社のコールセンターであるS-DOCに通知され、直接ユーザーの機器を確認、操作できる確で素早い復旧が可能になります。



# レコーダー編

## 1. レコーダー設置及び登録

### 1.1. ネットワーク接続

「LANポート」にイーサネットケーブルを挿入させた後、電源を「オン」します。



※GF-RA7160モデルの場合の「LANポート」位置

### 1.2. レコーダー情報の登録

インターネット接続後、レコーダーを起動すると自動的に「イベントスパイダー専用のクラウドサーバー」と通信を行い、レコーダー情報がサーバー上に登録されます。

※ クラウドサーバーとの通信はインターネットを通じて行います。円滑な通信をするために、インターネットによる通信環境を整備してください。

### 1.3. 登録確認

「メニュー」 → 「CLOUD」を選択します。



- ・ 成功：クラウドサーバーと通信状態が正常である場合。
- ・ 失敗：クラウドサーバーと通信が円滑ではない場合。インターネット環境をご確認ください。

## 2. イベントスパイダー

### 2.1. 本体メニュー

「メニュー」→「設定」→「イベントスパイダー」→「本体」を選択します。

インプット	センサータイプ	モーション	音声検知	警戒タイプ	アウトプット	名称	状態
1	NO	オフ	オフ	オフ	オフ		正常
2	NO	オフ	オフ	オフ	オフ		正常
3	NO	オフ	オフ	オフ	オフ		正常
4	NO	オフ	オフ	オフ	オフ		正常
5	NO	オフ	オフ	オフ	オフ		正常
6	NO	オフ	オフ	オフ	オフ		正常
7	NO	オフ	オフ	オフ	オフ		正常

イベントスパイダー(本体)メニュー説明	
本体	「レコーダー本体」のイベントスパイダー(本体)メニューを表示します。
警戒モード	警戒モードの「オン、オフ」設定ができます。
インプット	アラーム入力信号の番号を表します。※レコーダーモデルによって異なります。
センサータイプ	「Normal Open、Normal Close」の中でセンサータイプを選択出来ます。
モーション	レコーダー本体に接続されているカメラモーションアラームを選択出来ます。
音声検知	レコーダー本体に接続されている音声アラームを連動できます。
警戒タイプ	警戒タイプの「オン、オフ」設定ができます。
アウトプット	レコーダー本体に接続されているアウトプット設定ができます。
名称	インプットのアラーム名称を入力できます。※「英数字、カタカナ」
状態	インプット発生時「発生」、通常状態「正常」で表示します。
アウトプット保持時間	アウトプットの保持時間を設定できます。
リセット	設定メニューを初期設定値に戻します。
セット	変更した設定メニューを保存します。
終了	イベントスパイダーメニューを閉じます。

### 2.1.1. 本体

イベントスパイダーメニューの「レコーダー本体」に関する部分を設定します。  
警戒モード、センサータイプ、モーション、音声検知、警戒タイプ、アウトプット、名称など設定値を変更できます。

※I/Oコントローラーの使用は「**エンタープライズ**」プランの契約が必要となります。ご購入先にお問い合わせください。

### 2.1.2. 警戒モード

「レコーダー本体」及び「I/Oコントローラー」の警戒モードを設定します。  
「オン、オフ」の設定が可能であり、「**警戒タイプ**」によって適用範囲が異なります。

警戒モード	警戒タイプ	ステータス
オン	オン	オン
オン	オフ	オフ
オフ	オン	オフ
オフ	オフ	オフ

例 1) **警戒モード**が「**オン**」であっても**警戒タイプ**が「**オフ**」の場合、ステータスは「**オフ**」になります。

例 2) **警戒タイプ**が「**オン**」であっても**警戒モード**が「**オフ**」の場合、ステータスは「**オフ**」になります。

※詳細内容に関しましては、上記の表をご参照ください。

### 2.1.3. インプット

レコーダー本体のインプット番号を表します。  
インプット番号に関しましては、レコーダーの種類によって異なります。

例) GF-RA7040 : インプット1~4、GF-RA7080 : インプット1~8、GF-RA7160 : インプット1~16

### 2.1.4. センサータイプ

「Normal Open、Normal Close」の中でセンサータイプを選択出来ます。

### 2.1.5. モーション

インプット発生時、レコーダーに接続されているカメラを連動します。連動されているカメラは複数選択できます。この場合、選択されたカメラはモーション検知を開始します。

※レコーダー本体に接続されているカメラのモーション機能を使用します。

※イベントスパイダーメニュー上のモーション設定はレコーダー録画設定上のモーション設定と連動されておりません。モーション検知、モーション録画、Push通知は「メニュー」→「設定」→「録画」→「イベント」 or 「Push通知」で「モーション」設定を行ってください。



### 2.1.6. 音声検知

インプット発生時、レコーダーに接続されている音声アラームを連動します。音声検知は複数選択不可です。

※イベントスパイダメニュー上の音声検知はレコーダー録画設定上の音声検知と連動されておられません。音声検知、音声検知時の録画、Push通知は「メニュー」→「設定」→「録画」→「イベント」or「Push通知」で「音声検知」設定を行ってください。

### 2.1.7. 警戒タイプ

「レコーダー本体」の警戒タイプを設定します。「オン、オフ」で警戒タイプを設定できます。

※設定ステータスの詳細は「2.1.2. 警戒モード」をご参照ください。

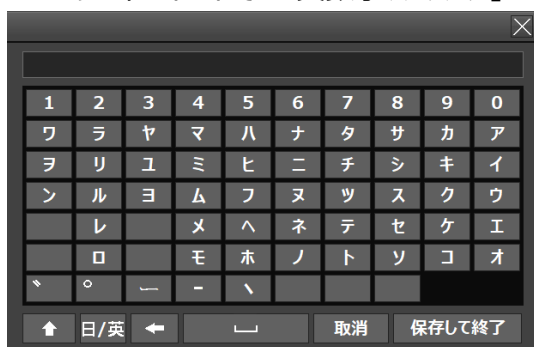
### 2.1.8. アウトプット

インプットに対してアウトプット(オフ、1)を設定します。

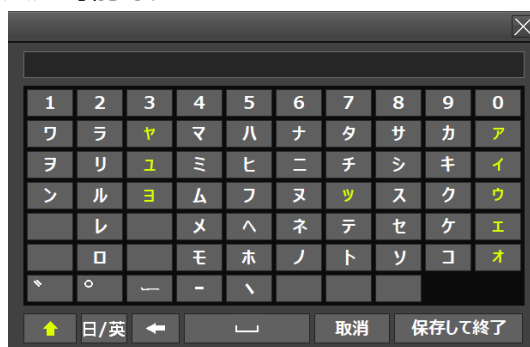
※アウトプット出力の拡張(本体1出力 + 拡張24出力)をご希望の場合は「エンタープライズ」プランの契約が必要となります。ご購入先にお問い合わせください。

### 2.1.9. 名称

インプットの名称を設定できます。入力したい名称欄をダブルクリックすると下記の様にキーボードが表示されます。キーボードでは「英数字、カタカナ」のみ入力可能です。



<カタカナ(大文字)>



<カタカナ(小文字)>



<絵数字(大文字)>



<英数字(小文字)>

## ● ウェブページで名称変更

※ウェブページ接続方法は、レコーダーに同梱されている「ユーザーマニュアル」をご参照ください。

① 「ウェブサービスへ接続」 → 「イベントスパイダー」 → 「本体」 → 「名称」を選択します。

DVRウェブサービス [admin] User Login

警戒モード オン

設定メニュー

イン プット	センサ ータイ プ	モーシ ョン	音声検 知	警戒タイ プ	アウト プット	名称	状態
1	NO	オフ	オフ	オフ	オフ		正常
2	NO	オフ	オフ	オフ	オフ		正常
3	NO	オフ	オフ	オフ	オフ		正常
4	NO	オフ	オフ	オフ	オフ		正常
5	NO	オフ	オフ	オフ	オフ		正常
6	NO	オフ	オフ	オフ	オフ		正常
7	NO	オフ	オフ	オフ	オフ		正常
8	NO	オフ	オフ	オフ	オフ		正常

アウトプット保持時間 5秒

ログアウト リセット 保存



インプット-1

モーシ  
ョン オフ

音声検  
知 オフ

アラームモード 部分セット

アウトプット オフ

名称

保存 終了

② 名称欄に名称を入力した後、保存ボタンを選択してください。

※ウェブページにて名称を変更する場合、一部の「漢字・文字」が反映されない場合があります。  
予めご了承ください。

### 2.1.10. 状態

インプット発生時「発生」、通常状態「正常」で表示します。警戒モード「オフ」の状態でも「モーション、音声を検知」された場合は状態が「発生」に表示されます。 ※この場合、アウトプットは出力されません。

### 2.1.11. ライブ画面の表示

ライブ画面の下部に位置している「コントロールバー」に現在の警戒モード及び状態が表示されます。

警戒モード「オフ」						
	2020/06/30 09:00:00	3960GB	再生	オフ		
警戒モード「オン」						
	2020/06/30 09:00:00	3960GB	再生	オン		
インプット入力時「発生」						
	2020/06/30 09:00:00	3960GB	再生	発生		

## 2.2. I/Oコントローラー

「メニュー」→「設定」→「イベントスパイダー」→「I/Oコントローラー」を選択します。

イベントスパイダー ✕

本体
I/Oコントローラー

I/Oコントローラー使用 オフ

I/Oコントローラーパスワード 888888

Update Time

2020/06/30 09:00:00

0.0.0.0

インプット	カメラ	センサータイプ	警戒タイプ	アウトプット	名称	状態
1	設定しない	NO	オフ	オフ		正常
2	設定しない	NO	オフ	オフ		正常
3	設定しない	NO	オフ	オフ		正常
4	設定しない	NO	オフ	オフ		正常
5	設定しない	NO	オフ	オフ		正常
6	設定しない	NO	オフ	オフ		正常

アウトプット制御

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

リセット
セット
終了

イベントスパイダー(I/Oコントローラー)メニュー説明	
I/Oコントローラー	イベントスパイダー(I/Oコントローラー)メニューを表示します。
I/Oコントローラー使用	「オン、オフ」でI/Oコントローラー使用有無を選択できます。
I/Oコントローラーパスワード	I/Oコントローラー本体のパスワードを入力します。※初期値：888888
インプット	アラーム入力信号の番号を表します。※24入力
カメラ	レコーダー本体に接続されているカメラを連動します。※複数選択可
センサータイプ	「Normal Open、Normal Close」の中でセンサータイプを選択出来ます。
警戒タイプ	警戒タイプの「オン、オフ」設定ができます。
アウトプット	I/Oコントローラーに接続されているアウトプット設定ができます。
名称	インプットのアラーム名称を入力できます。※「英数字、カタカナ」
状態	インプット発生時「発生」、通常状態「正常」で表示します。
アウトプット制御	手動でアウトプットを制御できます。
リセット	設定メニューを初期設定値に戻します。
セット	変更した設定メニューを保存します。
終了	イベントスパイダーメニューを閉じます。

### 2.2.1. I/Oコントローラー

イベントスパイダーメニューの「I/Oコントローラー」に関する部分を設定します。  
警戒タイプ、カメラ選択、センサータイプ、アウトプット、名称、アウトプット制御などの設定を変更できません。

### 2.2.2. I/Oコントローラー使用

レコーダーと連動されている「I/Oコントローラー」の使用可否を選択します。  
「オン」：I/Oコントローラーを使用します。  
「オフ」：I/Oコントローラー使用を中止します。  
※I/Oコントローラーが連動されていない場合は、「オン、オフ」操作しても作動できません。  
正しく連動されていることをお試し下さい。

### 2.2.3. I/Oコントローラーパスワード

I/Oコントローラーパスワードはセキュリティ強化の為、必ず入力します。※初期パスワード：888888  
I/Oコントローラーパスワードの変更は「I/Oコントローラーウェブページ」にて変更可能です。  
※「3.4. I/Oコントローラーパスワード変更」をご参照ください。

### 2.2.4. カメラ

インプット発生時、レコーダーに接続されているカメラを連動します。連動されているカメラは複数選択できます。

### 2.2.5. センサータイプ

「Normal Open、Normal Close」の中でセンサータイプを選択出来ます。

### 2.2.6. 警戒タイプ

「I/Oコントローラー」の警戒タイプを設定します。「オン、オフ」で警戒タイプを設定できます。  
※設定ステータスの詳細は「2.1.2. 警戒モード」をご参照ください。  
※I/Oコントローラーの「警戒タイプ」は本体の「警戒モード」設定によってステータスが異なります。

### 2.2.7. アウトプット

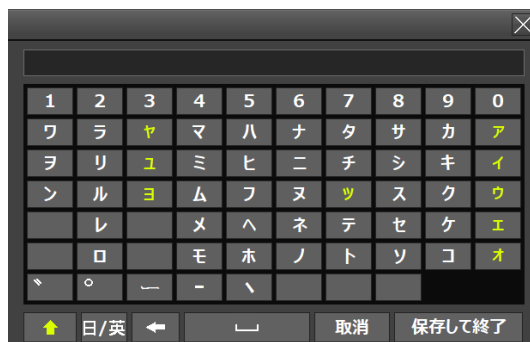
インプットに対してアウトプット(オフ、1~24)を設定します。  
「異なるインプット」に対して「同じアウトプット」の設定などが可能です。  
例) インプット1 対 アウトプット1  
      インプット2 対 アウトプット1

### 2.2.8. 名称

インプットの名称を設定できます。入力したい名称欄をダブルクリックすると下記の様にキーボードが表示されます。キーボードでは「英数字、カタカナ」のみ入力可能です。



<カタカナ(大文字)>



<カタカナ(小文字)>



<絵数字(大文字)>



<英数字(小文字)>

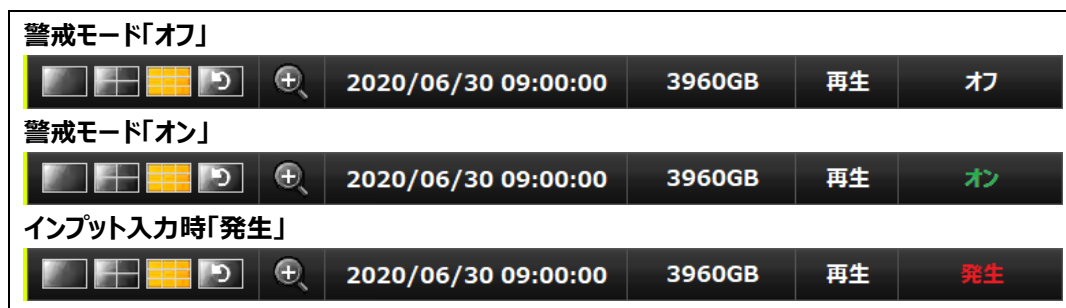
※ウェブページでの名称変更は「2.1.9. 名称 - ウェブページで名称変更」をご参照ください。

### 2.2.9. 状態

インプット発生時「発生」、通常状態「正常」で表示します。

### 2.2.10. ライブ画面の表示

ライブ画面の下部に位置している「コントロールバー」に現在の警戒モード及び状態が表示されます。

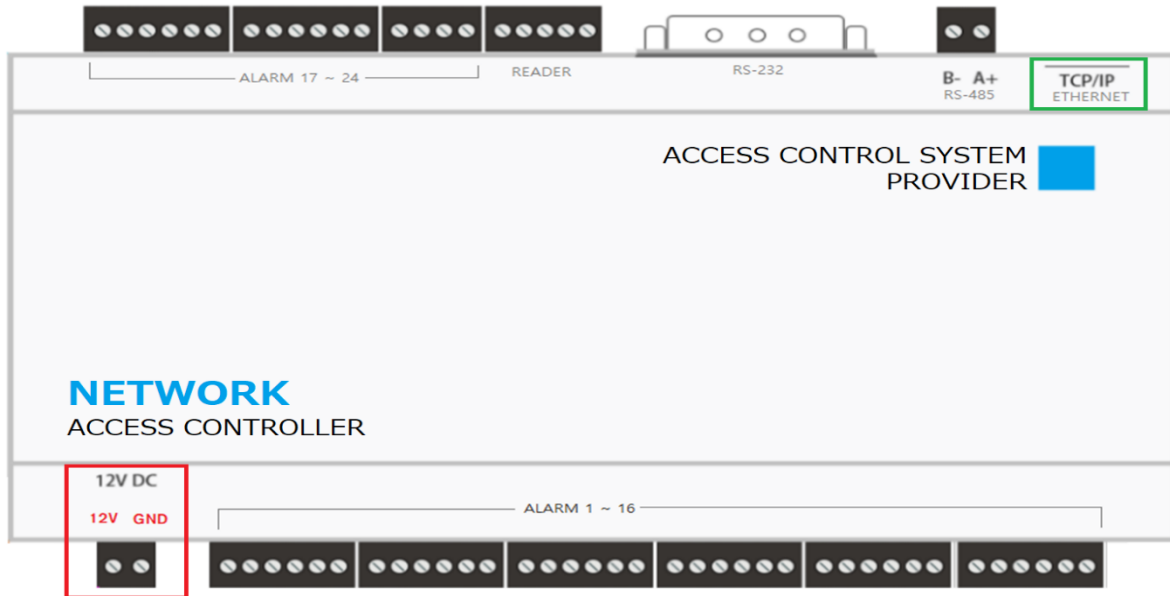


### 2.2.11. アウトプット制御

アウトプット制御の番号を選択すると手動でアウトプット出力ができます。



### 3. I/Oコントローラー連動



#### 3.1. I/Oコントローラー

I/Oコントローラーに「12V DC」電源供給すると自動的に起動します。

#### 3.2. I/Oコントローラー接続

イーサネットポートを使用し、パソコンと同じセグメント上に「I/Oコントローラー」を接続します。「Internet Explorer」を開き、アドレス入力欄に「IPアドレス」を入力します。



Time	Card	Name	Type	Result	Event
------	------	------	------	--------	-------

**ネットワーク情報の初期値**

ID(10bytes): N24201

IP: 192.168.253.201

Port: 8000

Gateway: 192.168.0.1

Subnet: 255.255.255.0

DNS: 192.168.0.1

### 3.3. IPアドレスの同期

「ウェブページ」 → 「Network」 → 「Server」を選択します。

- ① Server入力欄に「DVRもしくはNVR」のIPアドレスを入力してください。
- ② Localhost(I/Oコントローラー)とServer(DVR、NVR)を同じセグメント上に合わせます。

Cloud IO smart Controller

Home

Parameter

Uart

485 Reader

Time zone

Cards

IO records

Alarm records

IO Action

Timer Action

**Network**

Wireless

System Time

User

Reset System

Restart

Update

**Network**

Firmware: Jun 1 2020 15:43:40, Version: 107  
CPU: 75-75  
Cloud Box

Update: Support

MAC: 00:04:A3:BD:B0:C3  
SerialNo: N24201  
Memory: 55944/15820/10647  
IP: 192.168.000.201

Note: Please restart system!

**Localhost**

ID(10bytes): N24201

IP: 192.168.253.201

Port: 8000

Gateway: 192.168.0.1

Subnet: 255.255.255.0

DNS: 192.168.0.1

**Protocol**

TCP/IP (Unlink)  TCP/IP  
 As Client, link to software

HTTP (Unlink)  Post  
 Http Keep-Alive

Request Url(65bytes): /cgi-bin/net\_io\_Box.cgi?method=GetBoxOpen&

Heart Url(65bytes): /cgi-bin/net\_io\_Box.cgi?method=GetBoxStatus&

**Server**

Server: 192.168.253.102  
 Server is domain(32bytes)

Server Port: 80

**Other**

Enable AES128

AES: abcdefgh20161234

Heart(0.1s): 50  Close heart

Save

- ③ 連動状態は、以下のようにレコーダーのI/Oコントローラーメニューで確認できます。

**正常に連動されている場合 - Update Time欄に時刻/IPアドレスが更新される**

イベントスパイダー

本体 I/Oコントローラー

I/Oコントローラー使用 オン

I/Oコントローラーパスワード 888888

Update Time  
2020/06/30 09:00:00  
192.168.253.201

**連動されていない場合 - Update Time欄に更新できない**

イベントスパイダー

本体 I/Oコントローラー

I/Oコントローラー使用 オン

I/Oコントローラーパスワード 888888

Update Time  
1970/01/01 00:00:00  
0.0.0.0

- ① イーサネットケーブルの接続確認してください。
- ② I/Oコントローラーのパスワードを確認してください。
- ③ I/Oコントローラーとレコーダーが同じセグメント上にあることを確認してください。

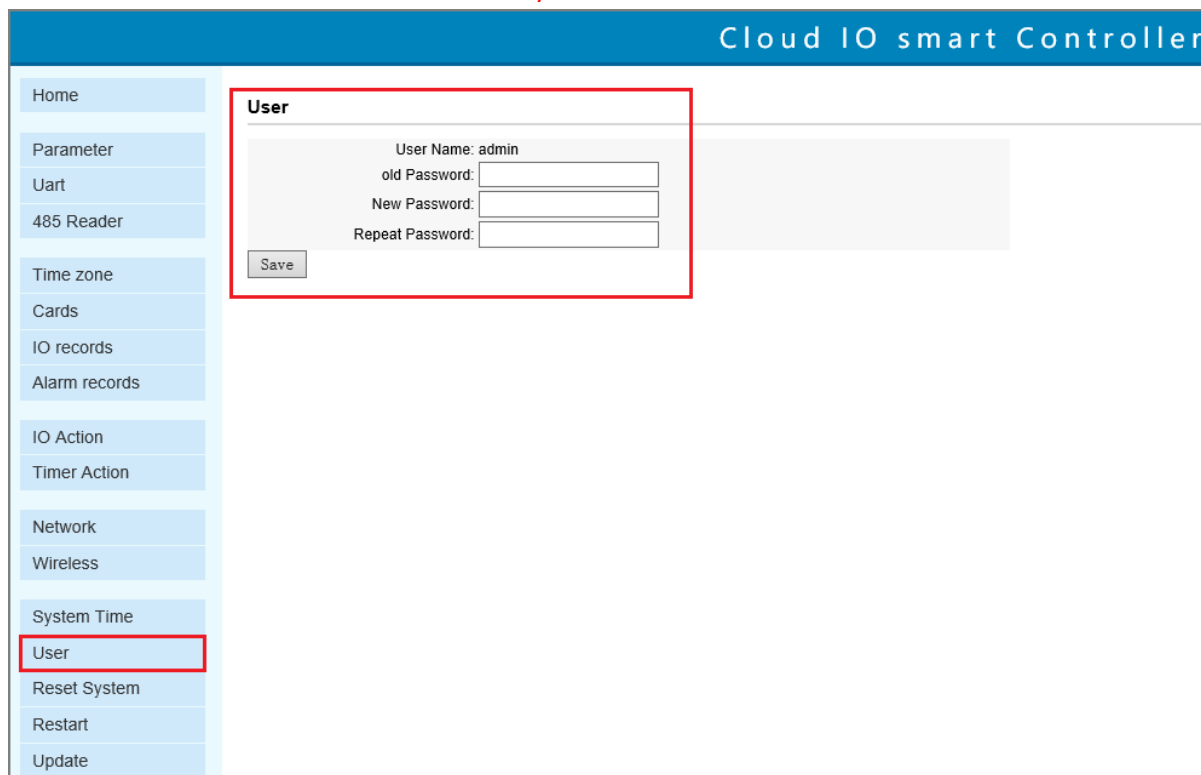


### 3.4. I/Oコントローラーパスワード変更

I/Oコントローラーのパスワード変更は、ウェブページでのみ変更可能です。

- ① 「ウェブページ」 → 「User」を選択します。
- ② 現在のパスワード、新しいパスワード、パスワード確認を行います。
- ③ 保存(Save)を選択するとパスワードが変更されます。

※パスワード変更時には、レコーダーの「I/Oコントローラーパスワード」を変更して下さい。



The screenshot displays the 'Cloud IO smart Controller' web interface. On the left is a navigation menu with items: Home, Parameter, Uart, 485 Reader, Time zone, Cards, IO records, Alarm records, IO Action, Timer Action, Network, Wireless, System Time, User (highlighted with a red box), Reset System, Restart, and Update. The main content area is titled 'User' and contains a form for user management. The form includes the following fields: 'User Name: admin', 'old Password:', 'New Password:', and 'Repeat Password:'. Each password field is accompanied by a small eye icon for visibility toggling. A 'Save' button is located at the bottom left of the form area.

# モバイルアプリ編

## 1. アプリケーションインストール

### 1.1. アップルストア (App Store) ※iPhone、iPad

- ① モバイルの「App Store」を開きます。



※IOSバージョン : 8.0 以上

- ② 検索画面を開いて、「Event Spider」アプリケーションを検索します。

「検索」 ➡ 「検索欄」 ➡ 「Event Spider」 ※英語のみで検索可能

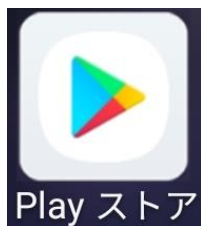


- ③ 「入手」ボタンをクリックして、アプリケーションをインストールしてください。

※App Store設定によって「パスワード、顔認証、指紋」など認証方法を求める場合があります。

## 1.2. グーグルプレイ（Google Store）※Android

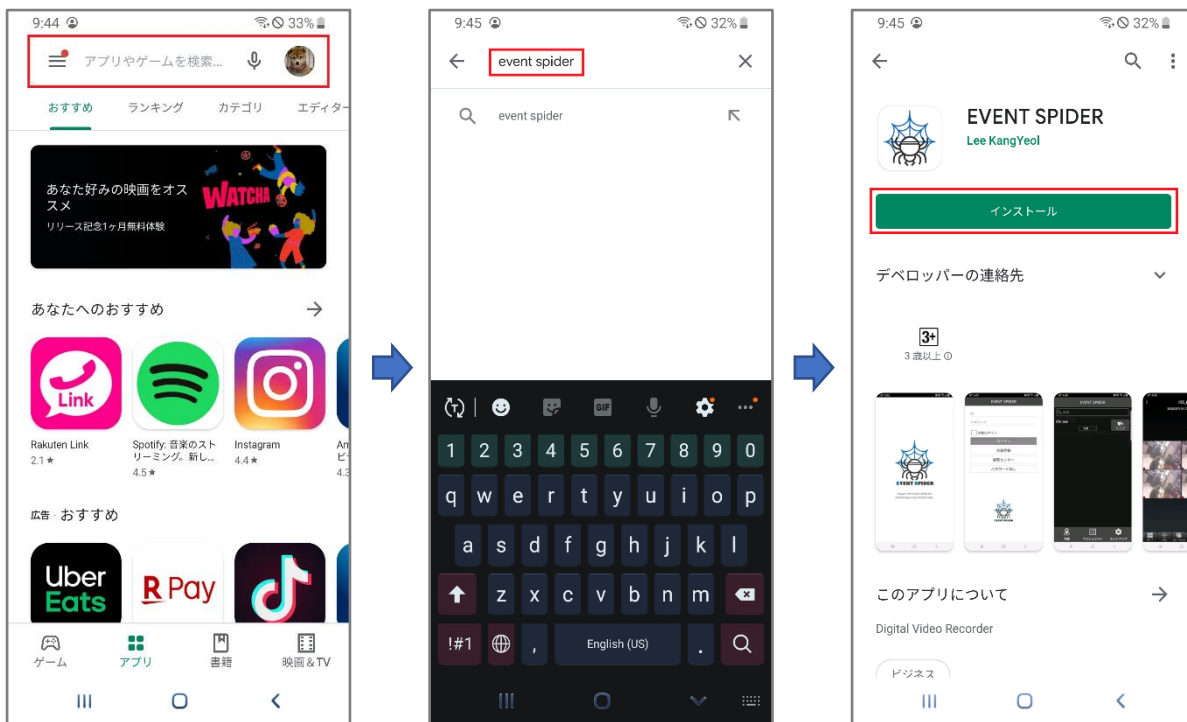
① モバイルの「Play ストア」を開きます。



※Androidバージョン：4.1 以上

② 検索画面を開いて、「Event Spider」アプリケーションを検索します。

「検索」⇒「検索欄」⇒「Event Spider」※英語のみで検索可能



③ 「入手」ボタンをクリックして、アプリケーションをインストールしてください。

※プレイ Store設定によって「パスワード、顔認証、指紋」など認証方法を求める場合があります。

## 2. 会員登録

### 2.1. アプリケーションで会員登録

- ① アプリケーションの会員登録を選択します。

The image shows two screenshots of the EVENT SPIDER app. The left screenshot is the main menu with the '会員登録' (Registration) button highlighted in red. A blue arrow points to the right screenshot, which is the registration form. The form includes fields for ID, Password, Password Confirmation, User Name, and E-mail, along with an 'OK' button at the bottom.

- ② IDを入力した後、必ず「ID重複確認」を行ってください。

※IDは英文字、数字のみ(4~30文字)入力可能です。

The image shows two screenshots of the app. The left screenshot shows a message 'このIDは使用可能です。' (This ID is available) with an 'OK' button. The right screenshot shows a message '同じIDが存在します。' (This ID already exists) with an 'OK' button. Below each screenshot are the labels '使用可能' (Available) and '使用不可' (Not Available) respectively.

- ② IDを入力した後、必ず「ID重複確認」を行ってください。

③ ユーザー名を入力後、必ずユーザー承認を行ってください。

会員登録

Test

英文字 & 数字のみ(4~30文字)ID重複確認

.....

.....

英文字, 数字 & 特殊文字(8文字以上)

Test\_User

ユーザー認証

会員登録のためにはユーザー認証が必要です。

sdhelp@security-d.com

0120-734-357

ユーザー名と連絡先は会員登録の時登録した情報と同じく入力してください。

OK

ユーザー認証

会員登録のためにはユーザー認証が必要です。  
パスワードを忘れた場合ユーザー認証を通しパスワードを再設定することができます。

Googleアカウントで認証

携帯電話で認証

- Googleアカウントで認証：お持ちのGoogleアカウントを利用して認証を行います。
- 携帯電話で認証：入力した携帯番号に発送された6桁のコードを利用して認証を行います。

Google

ログイン

Google アカウントでログインしましょう。 [詳細](#)

メールアドレスまたは電話...

[メールアドレスを忘れた場合](#)

[アカウントを作成](#) [次へ](#)

電話番号を入力してください

+81 電話番号

電話番号を確認

[電話番号を確認] をタップすると、SMS が送信されます。データ通信料がかかることがあります。

電話番号を確認

送信された 6 桁のコードを入力してください

+81080XXXXXXX

1 1 1 1 1 1

続行

[コードを再送信](#)

グーグルアカウントで認証

携帯番号で認証

## 2.2. Mac住所で会員登録

レコーダー上で、「メニュー」 → 「CLOUD」 → 「Mac住所で会員登録」を選択します。



このメニューで登録した「ユーザーID」、「パスワード」はモバイルアプリのログイン時に使用されます。

※「ユーザーID」はMac住所の後ろ8桁で自動的に設定されます。

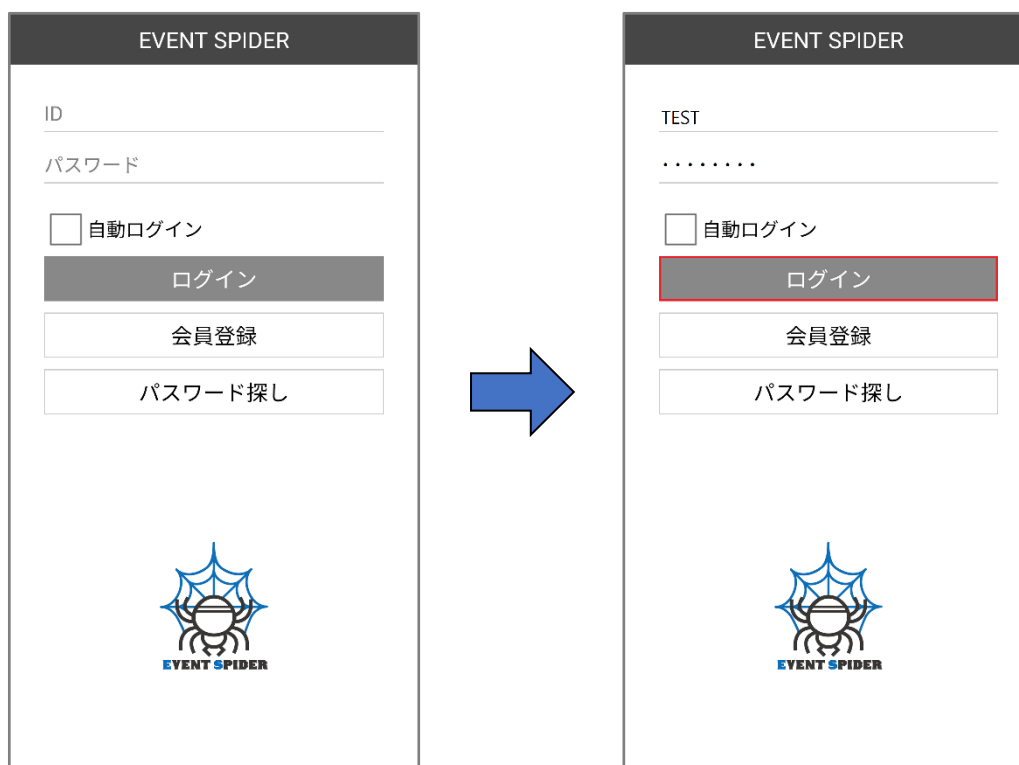
### <Mac住所で会員登録の場合の注意事項>

- ① 「ユーザーID」は変更出来ません。ご希望のIDがある場合は、モバイルアプリから会員登録を行って下さい。参照「2.1. アプリケーションで会員登録」
- ② 「パスワード探し」機能を使用できません。

## 3. ログイン

### 3.1. ログイン

「ID、パスワード」を入力した後、ログインボタンを選択してください。



The image shows two sequential screenshots of the EVENT SPIDER login interface. The left screenshot displays the login form with fields for ID and password, an auto-login checkbox, and buttons for ログイン, 会員登録, and パスワード探し. The right screenshot shows the same form with the ログイン button highlighted in red, indicating it should be selected.

※「自動ログイン」を選択すると、ログインが省略され自動的にメイン画面に移動します。

### 3.2. パスワード探し

会員登録時の認証方法でパスワード変更が可能です。

※「Googleアカウント認証、携帯電話で認証」済みのユーザーのみ使用可。



The image shows three sequential screenshots illustrating the password recovery process. The first screenshot shows the login page with the パスワード探し button highlighted. The second screenshot shows the Google account authentication screen. The third screenshot shows the mobile phone number verification screen.

## 4. モバイルアプリ機能

### 4.1. 機器登録

モバイルアプリから会員登録後は機器が登録されていない為、機器登録が必要です。

※機器登録数の制限はありません。

- ① 「メニュー」 → 「+追加」を選択します。
- ② 案内画面が表示されますので、「はい」ボタンを押して次に進行してください。



- ③ レコーダー上で「メニュー」 → 「CLOUD」を選択して「QR Code」を確認します。



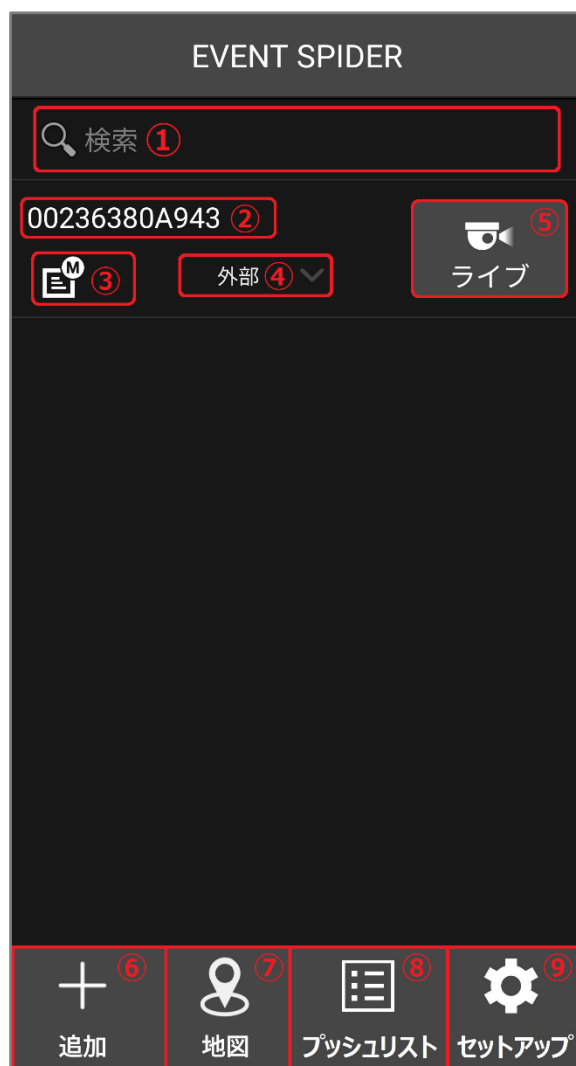
- ④ 携帯電話のカメラを直接モニターにかざして登録を行ってください。

※レコーダーで機器登録：「CLOUDメニュー」 → 「アプリログインのユーザーID、パスワード」 → 「登録」



## 5. メイン画面

機器登録が完了されますと、以下のようにメイン画面が表示が変わります。



メイン画面のメニュー説明		
①	検索	アカウントに登録された機器を検索します。
②	機器名	登録された機器名を表示します。 ※初期値：Mac住所 / 変更可
③	メニュー	「DeviceDoC要請/終了、機器名変更、機器接続情報」など設定ができます。
④	IPタイプ	「外部IP、内部IP」の中で、IPタイプを選択できます。
⑤	ライブ画面へ移動	該当機器のライブ画面を表示します。
⑥	追加	新しい機器を登録できます。
⑦	地図	登録した位置情報を確認できます。
⑧	プッシュリスト	イベントスパイダーアラーム、レコーダーイベント、システムアラームが発生した場合、プッシュリストで確認できます。 ※Push通知設定必要
⑨	セットアップ	アプリケーションの各種設定ができます。

## 5.1. 機器検索

アカウントに登録されている機器を検索します。文字を入力すると該当機器が検索されます。

## 5.2. 機器名

登録された機器名を表示します。初期登録時にはレコーダーの「Mac住所」で表示されます。機器名変更は「5.3.3. 機器名変更」をご参照ください。

## 5.3. メニュー

DeviceDoC要請・終了、機器名変更、機器接続情報、機器モニターミラーリング、機器位置設定機能を使用できます。

メニュー説明	
DeviceDoC要請	S-DoCに「DeviceDoC」要請を行います。
DeviceDoC終了	要請した「DeviceDoC」を終了します。
機器名変更	現在の機器名を新しい機器名に変更できます。
機器接続情報	該当機器の接続情報を確認できます。
機器モニターミラーリング	該当機器のモニターミラーリングを開始します。
機器位置設定	機器の位置情報を設定できます。

### 5.3.1. DeviceDoC要請

DeviceDoCはシステム異常時の際等、イベントスパイダー内に搭載されている機能を使い、当社コールセンターであるS-DOCにDeviceDoc要請が通知され、直接ユーザーの機器を確認・操作でき、的確で素早い復旧が可能な機能です。※DeviceDoC機能はサービス契約されている方のみ受付可能です。



### 5.3.2. DeviceDoC終了

DeviceDoC終了を行うことで、当社コールセンターからユーザー機器に接続・操作ができなくなります。

※DeviceDoC要請後、当社コールセンターの操作が終わるまで終了しないでください。



### 5.3.3. 機器名変更

アプリケーション上で表示される「機器名」を変更する機能です。



### 5.3.4. 機器接続情報

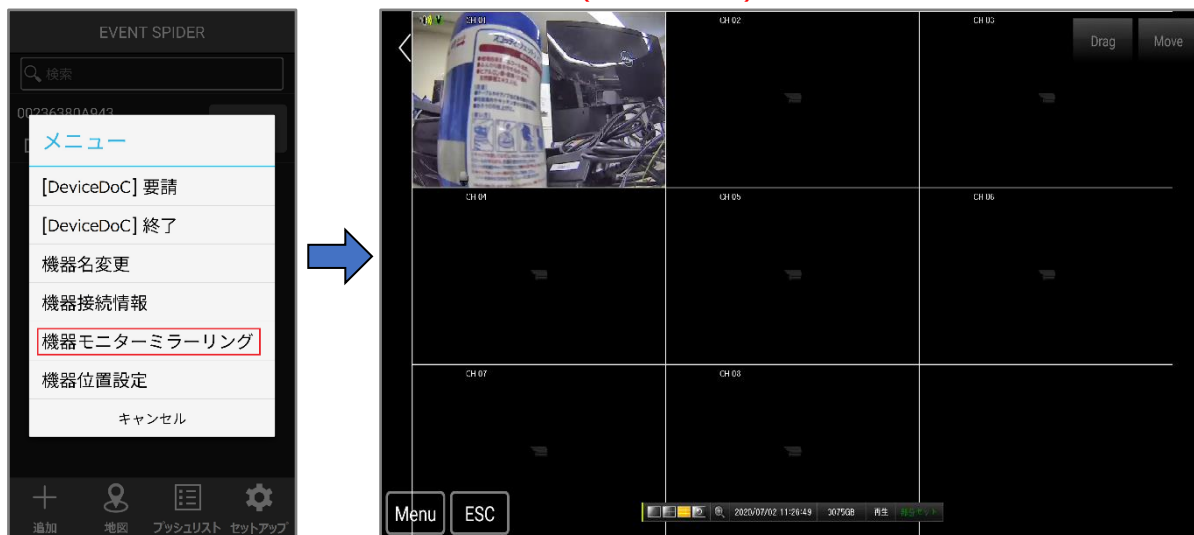
「Mac住所、IP、接続ポート、ウェブポート」該当機器の接続情報を確認できます。



### 5.3.5. 機器モニターミラーリング

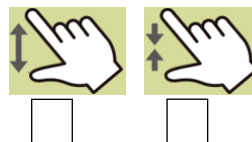
機器モニターミラーリング機能はレコーダーに直接接続し、同じ画面で操作ができる機能です。

PCでも同じ機能を使用できます。 ※専用VMS(NETUS-Pro)で使用可。



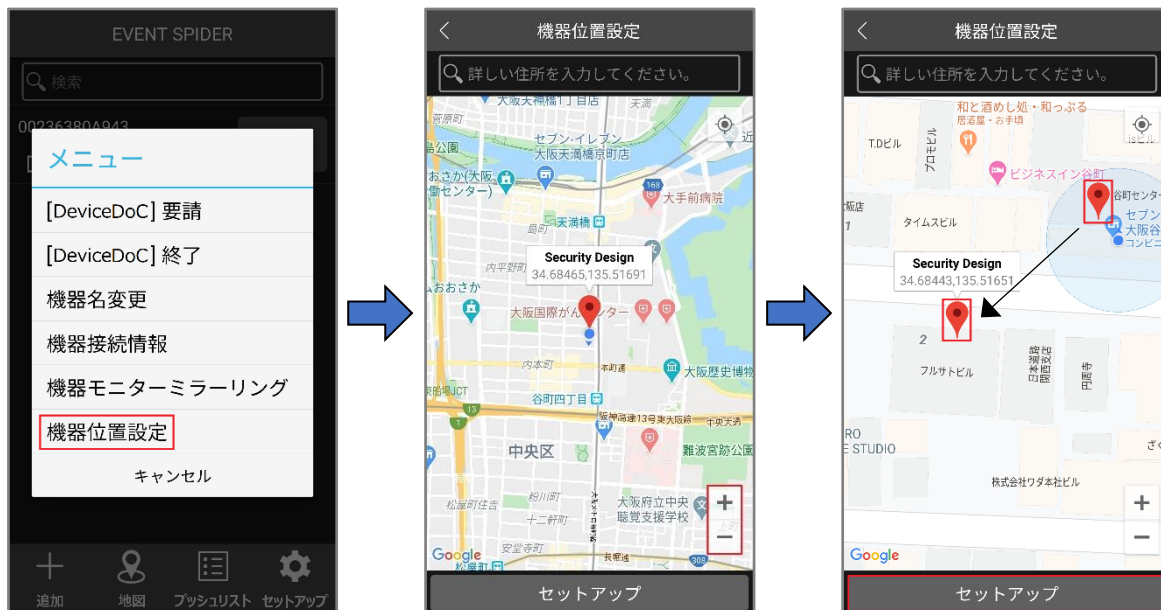
※横向き画面に固定されます。

- Menu : 設定メニューを開きます。
- ESC : 開いているメニューを閉じます。
- 画面「拡大」: 画面を二本指でタッチし、広げます。
- 画面「縮小」: 画面を二本指でタッチし、縮めます。



### 5.3.6. 機器位置設定

登録されている機器の位置を設定できる機能です。 ※Google Map



- ・ マーク位置の設定は、**マーク(赤枠)**を長押しすると移動できます。
- ・ 地図の「拡大、縮小」は、画面を二本指でタッチして「広げたり、縮めて」操作できます。

### 5.4. IPタイプ

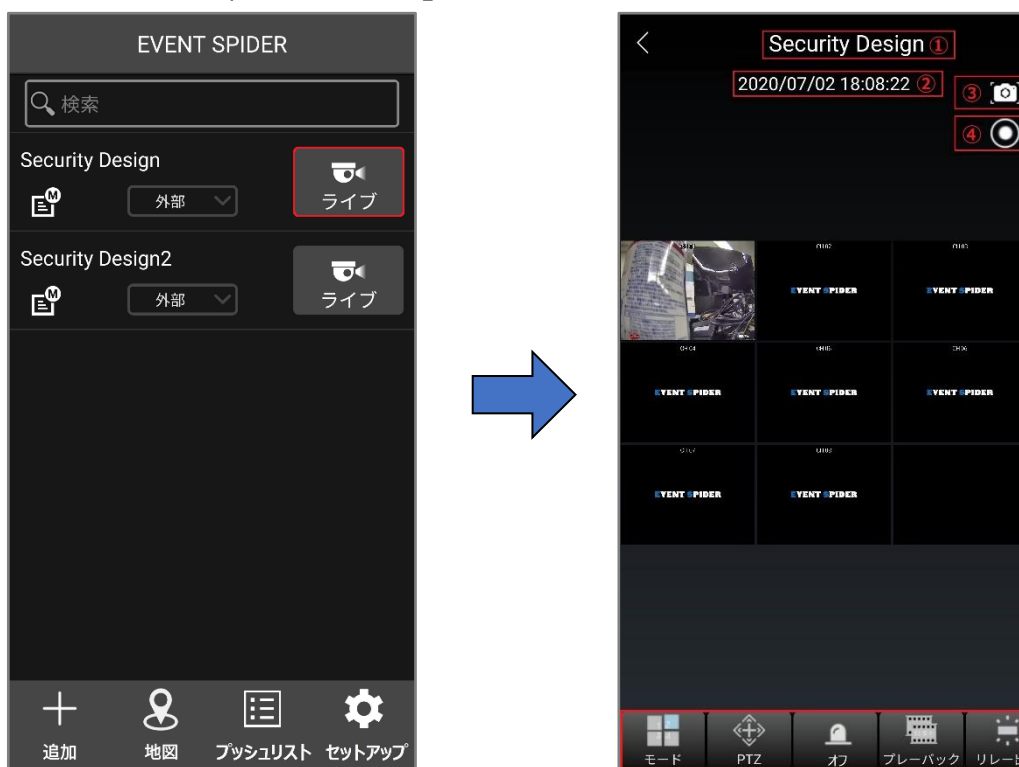
IPタイプ(外部IP、内部IP)を選択できます。 ネットワーク環境に合わせて設定してください。













- ・ 外部：外部ネットワーク環境で接続可能。 ※ポートフォワーディング必須
- ・ 内部：内部ネットワーク環境で接続可能。 ※外部ネットワークからは接続不可。

## 5.5. ライブ画面へ移動

「ライブ画面、PTZ操作、プレーバック」など、各種機能を使用できる画面に移動します。



ライブ画面メニュー説明		
①	機器名	設定されている機器名を表示します。
②	日時	レコーダーで設定した日時を表示します。 ※日時変更の場合、遠隔接続が切断されます。再度接続してください。
③	スクリーンショット	現在の画面をスクリーンショットで保存します。
④	動画	現在の画面を動画で保存します。(  オフ、  オン)
 モード	モード	分割画面の表示スタイルを変更します。
 PTZ	PTZ	Pan-Tilt、ズーム、操作速度、プリセットの操作ができます。
 プレーバック	プレーバック	録画データを再生します。
 オフ	警戒モード	イベントスパイダーの警戒モード「オフ、オン」を設定できます。
 リレー出力	リレー出力	レコーダー本体のリレー制御を行います。
 I/O CTRL	I/O CTR(Controller)	I/Oコントローラーのアウトプット制御、名称確認・変更ができます。
 話す	話す	該当チャンネルに接続されている「マイク、スピーカー」を利用して遠隔地の人と会話する機能です。
 情報	情報	レコーダー情報、接続タイプの情報が表示されます。

### 5.5.1. 機器名

初期機器名、もしくは「5.3.3. 機器名変更」で設定した機器名が表示されます。

### 5.5.2. 日時

レコーダーで設定した日時を表示します。遠隔接続中にレコーダー側で日時を変更すると、一時的に接続が切断されます。再度接続を行ってください。

### 5.5.3. スクリーンショット

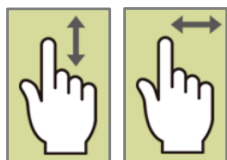
現在の画面をスクリーンショットで保存します。保存先へのアクセス許可が必要な場合があります。  
※保存先はモバイル機種によって異なります。

### 5.5.4. 動画

現在の画面を動画で保存します。カメラ及び保存先へのアクセス許可が必要な場合があります。  
※保存先はモバイル機種によって異なります。

### 5.5.5. モード

ライブ画面、再生画面の分割表示スタイルを変更します。「モード」を選択すると順次分割画面が変わります。



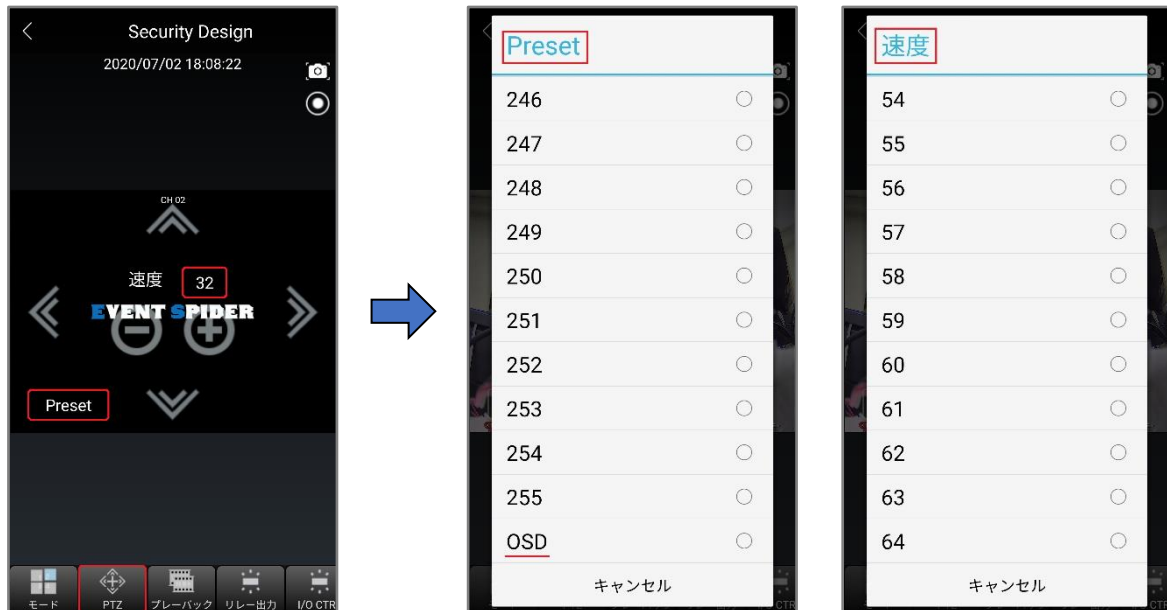
- ・画面をタッチして上下に動くことで表示スタイルを変更できます。
- ・画面をタッチして左右に動くことで表示チャンネルを変更できます。



- ・単画面のみ、二本指で画面をタッチして「広げる、縮める」ことでデジタルズーム機能を使用できます。

### 5.5.6. PTZ

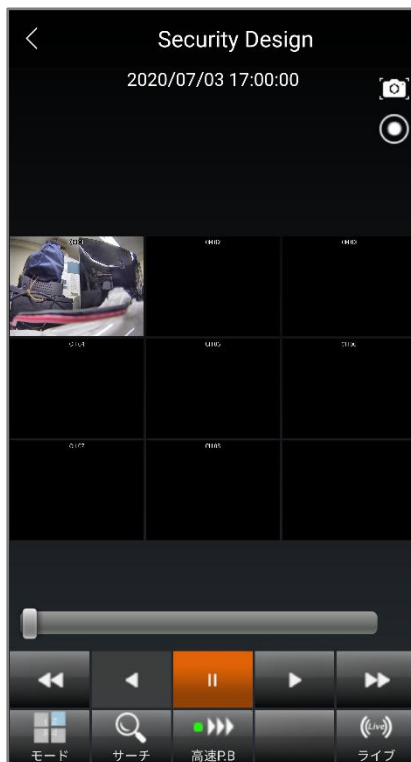
Pan-Tilt、ズーム、操作速度、プリセットの操作ができます。



- ・ プリセット：レコーダーで設定したプリセットを使用できます。 ※1~255  
 ※OSD：プリセット画面の一番下でOSDメニューを選択できます。
- ・ 速度：PTZ速度を調節できます。 ※1~64

### 5.5.7. フレーバック

「録画再生、モード変更、サーチ、高速P.B、再生調整」機能を使用できます。



プレーバックメニュー説明		
	早戻し	早戻し再生を開始します。
	逆再生	逆再生を開始します。
	一時停止	再生中のデータを一時停止します。
	再生	再生を開始します。
	早送り	早送り再生を開始します。
	モード	分割画面の表示スタイルを変更します。
	サーチ	日時で録画データを検索します。
	高速P.B	高機能の再生モードに変更します。
	ライブ	ライブ画面に移動します。



### 5.5.7.1. 早戻し

「x30」倍速で早戻し再生ができます。

※高速P.Bモード：「x2、x4、x8、x16、x32、x300」倍速で早戻し再生可能

### 5.5.7.2. 逆再生

逆再生は、「高速P.Bモード」を選択した場合のみ使用可能です。

### 5.5.7.3. 一時停止

「早戻し、早送り、逆再生、再生、早送り」再生モードの機能を停止し画面を一時停止する機能です。

### 5.5.7.4. 再生

通常倍速で、録画データを再生します。

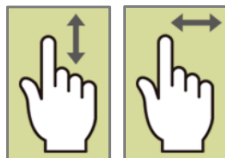
### 5.5.7.5. 早送り

「x30」倍速で録画データを再生します。

※高速P.Bモード：「x2、x4、x8、x16、x32、x300」倍速で早送り再生可能

### 5.5.7.6. モード

再生画面の分割表示スタイルを変更します。操作は「モード」を選択すると順次、分割画面が変わります。



・画面をタッチして上下に動くことで表示スタイルを変更できます。

・画面をタッチして左右に動くことで表示チャンネルを変更できます。



・単画面のみ、二本指で画面をタッチして「広げる、縮める」ことでデジタルズーム機能を使用できます。

### 5.5.7.7. サーチ

録画データを「年、月、日」、「時、分」設定で検索し、再生します。

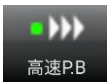




### 5.5.7.8. 高速P.B

高速P.Bモードは「早戻し、早送り」を「x2、x4、x8、x16、x32、x300」倍速で再生出来るようになり、「逆再生」モードを使用できるようになります。

※高速P.Bは「モバイルアプリ、VMS」を含め、同時操作可能台数は「1台のみ」です。

他の機器で高速P.Bを使用している場合、グレー色で表示され使用できなくなります。

	高速P.B「オフ」の状態(使用可能)
	高速P.B「オン」の状態
	高速P.B「オフ」の状態(使用不可) 他の機器から高速P.Bを「オフ」にした後、再度お試しください。

### 5.5.7.9. ライブ

プレーバックモードを中止し、ライブ画面に移動します。

### 5.5.8. 警戒モード

警戒モード「オン、オフ」操作ができます。

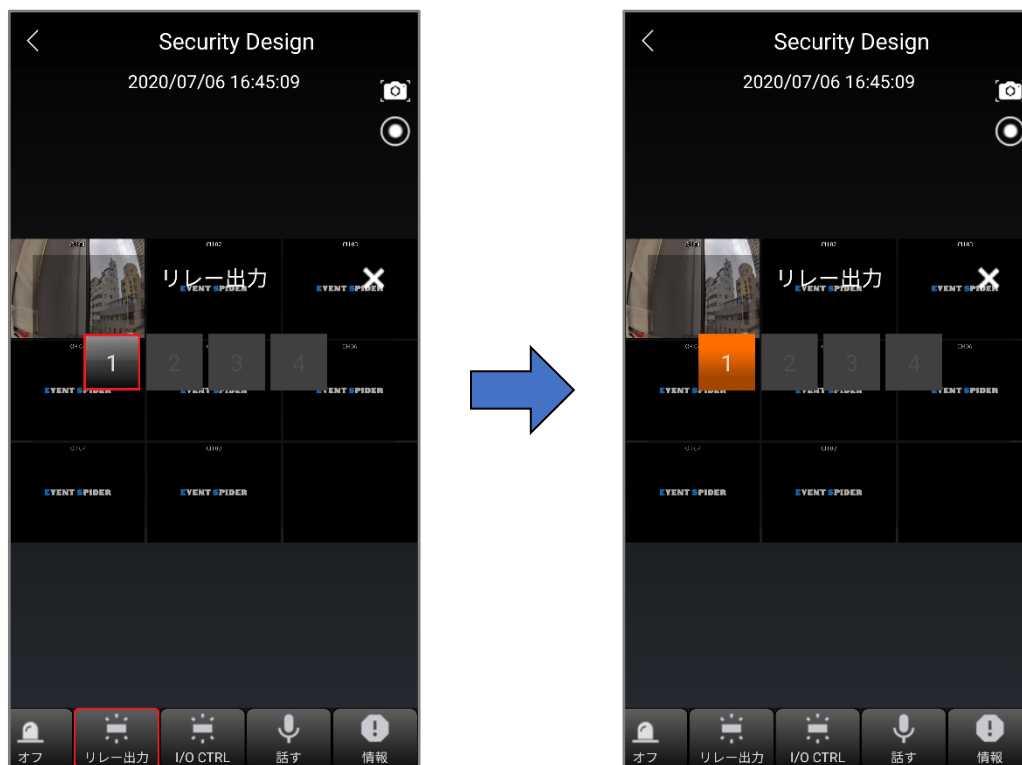
※警戒モード、警戒タイプの詳細内容は[レコーダー編「2.1.2. 警戒モード」](#)をご参照ください。

	警戒モード「オフ」の状態
	警戒モード「オン」の状態

※「警戒モード」メニューはサービス契約されている機器のみ表示されます。

### 5.5.9. リレー出力

レコーダー本体のリレー制御ができます。※本体のリレー出力数は1個のみです。



### 5.5.10. I/Oコントローラーアウトプット

I/Oコントローラーの「アウトプット」を制御したり、アウトプット名称を設定できます。

※I/Oコントローラーメニューはレコーダー上でI/Oコントローラー使用「オン」にした場合のみ表示されます。



	アウトプット名称を設定
	アウトプット出力「オフ」の状態
	アウトプット出力「オン」の状態

### 5.5.11. 話す

該当チャンネルに接続されている「マイク、スピーカー」を利用して遠隔地の人と会話する機能です。



### 5.5.12. 情報

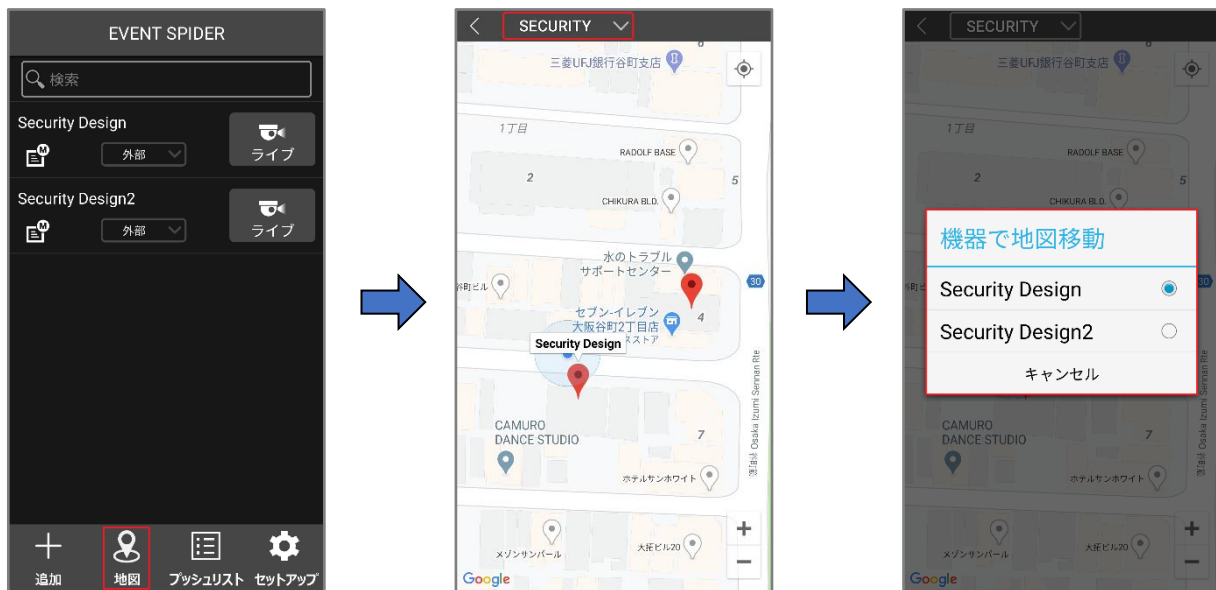
レコーダーF/Wバージョン情報、接続タイプの情報が表示されます。



### 5.6. 地図

「5.3.6. 機器位置設定」で登録した機器の位置情報を地図上で確認できます。

※複数登録されている場合は、上段の「機器で地図移動」を利用して移動可能です。



## 5.7. プッシュリスト

アラーム発生時にモバイルに通知アラームが發送されます。

發送されたプッシュ通知を選択すると、プッシュリストが表示されます。 ※自動ログイン設定時  
プッシュリストメニューでは現時点の「ライブ」画面に移動、アラーム発生時の「再生」画面に移動  
することができます。 ※ビデオロスアラームのみ発生前(15sec)映像に移動します。

※プッシュ通知設定は「5.8.2. プッシュ通知を使用」をご参照ください。



メイン画面の「プッシュリスト」を選択してプッシュリストを開くこともできます。



## 5.8. セットアップ

セットアップメニューでは各種設定することができます。

設定		セットアップメニュー説明	
EVENT SPIDER	v1.0.1	EVENT SPIDER	アプリケーション名・バージョンを表示します。
プッシュ通知を使用	<input type="checkbox"/>	プッシュ通知を使用	プッシュ通知「使用、中止」ができます。
強制アラーム使用 機器ボリューム設定に関係なく最大ボリュームでアラーム音を出します。	<input type="checkbox"/>	強制アラーム使用	機器音量に関係なく最大音量でアラームを出力させます。
邪魔禁止時間	>	邪魔禁止時間	「オン」の状態ではプッシュ通知を使用中でも「中止」状態になります。
サブユーザーID管理	>	サブユーザーID管理	サブユーザーを管理する機能です。
情報修正	>	情報修正	パスワード変更、ユーザー名、E-Mail、電話番号の変更ができます。
管理者情報	>	管理者情報	管理者情報「確認、登録」ができます。
顧客センター (0120711721)		顧客センター	選択時、通話画面に当社コールセンター電話番号が自動的に入力されます。
画面表示設定		画面表示設定	ライブ、再生画面の表示を設定できます。
カメラ名	<input type="checkbox"/>	自動接続製品	アプリケーション起動時に設定した機器のライブ画面に自動的に接続します。
状態アイコン	<input type="checkbox"/>	ログアウト	現在アカウントをログアウトします。
時間表示	<input type="checkbox"/>		

※「強制アラーム、邪魔禁止時間」機能は、Android機種のみ使用可

### 5.8.1. アプリケーション情報

アプリケーション名、アプリケーションのバージョン情報が表示されます。

### 5.8.2. プッシュ通知を使用

プッシュ通知(イベントスパイダー、システムアラーム、録画イベント)を「使用、中止」する機能です。

### 5.8.2.1. Push通知設定

イベントアラーム、システムアラームはレコーダー設定メニューから別途設定する必要があります。

#### ① イベントアラーム

「メニュー」→「設定」→「録画」→「Push通知」でプッシュ通知が必要なアラームを設定します。



#### ② システムアラーム設定

「設定」→「システム」→「アラーム動作」→「アラーム動作」→「Push」を選択します。





### 5.8.2.2. 強制アラーム使用

機器音量に関係なく、最大音量で強制的にプッシュ通知の着信音を発生させます。強制アラームはプッシュ通知「中止」状態では、適用されませんので、ご使用時にはプッシュ通知を「使用」状態にしてください。

※消音モードでも着信音が発生しますので、ご注意ください。



<設定しない>

<発生>



<発生+警戒モードオン/オフ>



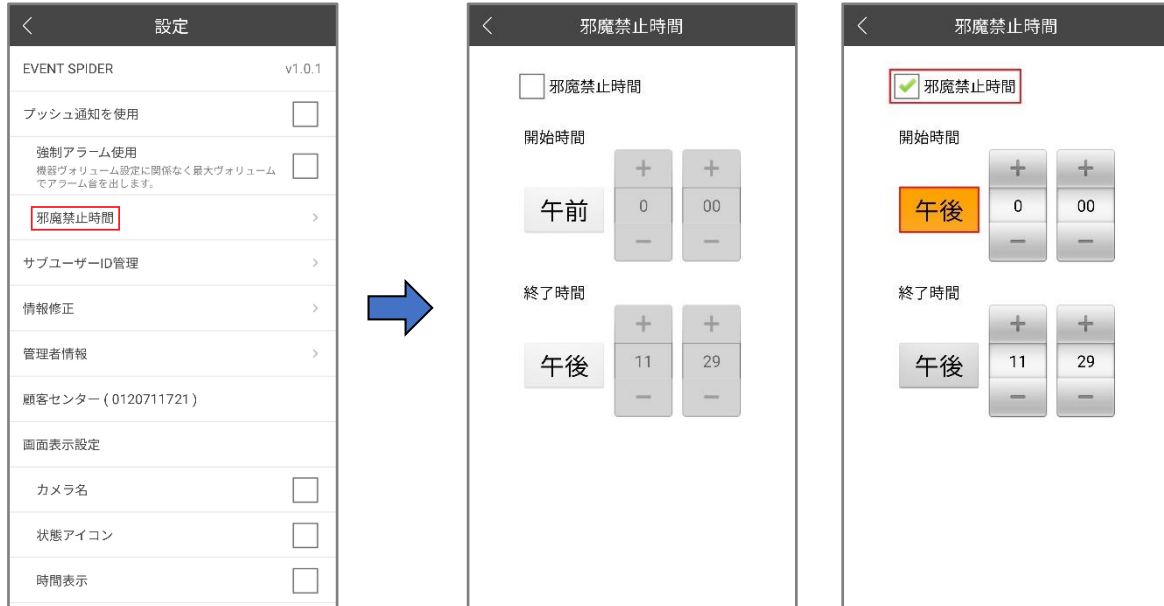
<All Push>

- ・ 設定しない：強制アラーム「オフ」状態にします。
- ・ 発生：イベントスパイダー入力アラームが発生した場合、強制アラームを出力します。
- ・ 発生 + 警戒モードオン/オフ：イベントスパイダーアラーム、警戒モード「オン、オフ」動作時に強制アラームを出力します。
- ・ All Push：イベントスパイダーアラーム、システムアラーム、録画イベント発生時に強制アラームを出力します。

### 5.8.2.3. 邪魔禁止時間

邪魔禁止時間を設定すると、プッシュ通知及び着信音(バイブレーションを含む)が「オフ」状態となります。

※設定を「オン」にしている間はプッシュ通知・着信音は「オフ」状態になりますが、プッシュリストには発生したアラームが正常に更新されます。

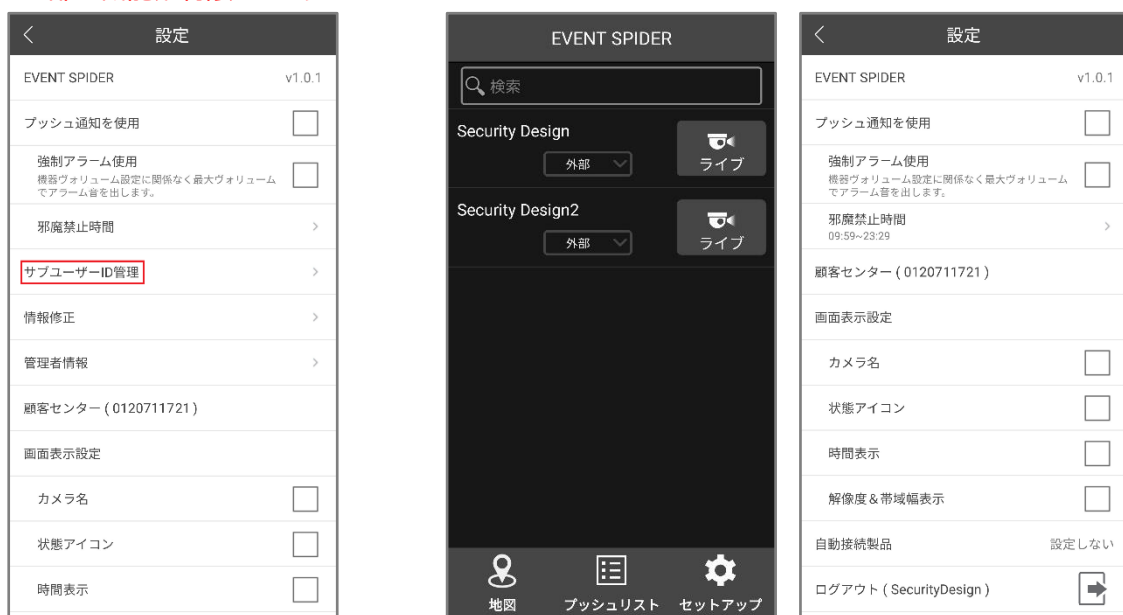


- ・ 「午前、午後」ボタンを選択すると「午後、午前」に変わります。
- ・ 時間変更は「+、-」ボタン、もしくは数字を直接入力して使用可能です。

### 5.8.3. サブユーザーID管理

サブユーザーID「追加(生成)、削除、変更」管理ができます。

※サブユーザーは「DeviceDoC、機器名変更、機器位置設定、サブユーザーID管理、機器登録」など一部の機能が制限されます。



<サブユーザーアカウントでログイン>

### 5.8.3.1. サブユーザー追加

サブユーザー追加できます。サブユーザーは機器1台目に対して、10アカウントまで登録可能です。

※登録機器2台目：11アカウント … 登録機器10台目：19アカウント

※登録機器2台目から1台当たり、1アカウントずつ追加されます。

The first screenshot shows the 'サブユーザー設定' (Sub-user Settings) screen with input fields for ID, Password, Password Confirmation, and User Name. The second screenshot shows the same screen with the 'ライブモニタリング' (Live Monitoring) permission checked and the '機器目録' (Device List) button highlighted. The third screenshot shows the resulting list of sub-users, including 'Security Design' and 'Security Design2'.

- ① 「ID、パスワード、パスワード確認、ユーザー名」を入力します。※ID重複確認必須。
- ② 権限からサブユーザーに与える項目を選択します。
- ③ 機器の接続権限を付与することができます。  
※最小1台、全機器登録の際には「全機器」にチェックを入れてください。
- ④ 全ての項目に入力が終わりましたら、「OK」ボタンを押してください。

The first screenshot shows the 'サブユーザー設定' (Sub-user Settings) screen with a success message dialog box: 'お知らせ ユーザー設定に成功しました。 OK'. The second screenshot shows the 'サブユーザーID管理' (Sub-user ID Management) screen with a list of sub-users and buttons for '追加' (Add), '削除' (Delete), and '変更' (Change).

### 5.8.3.2. サブユーザー削除

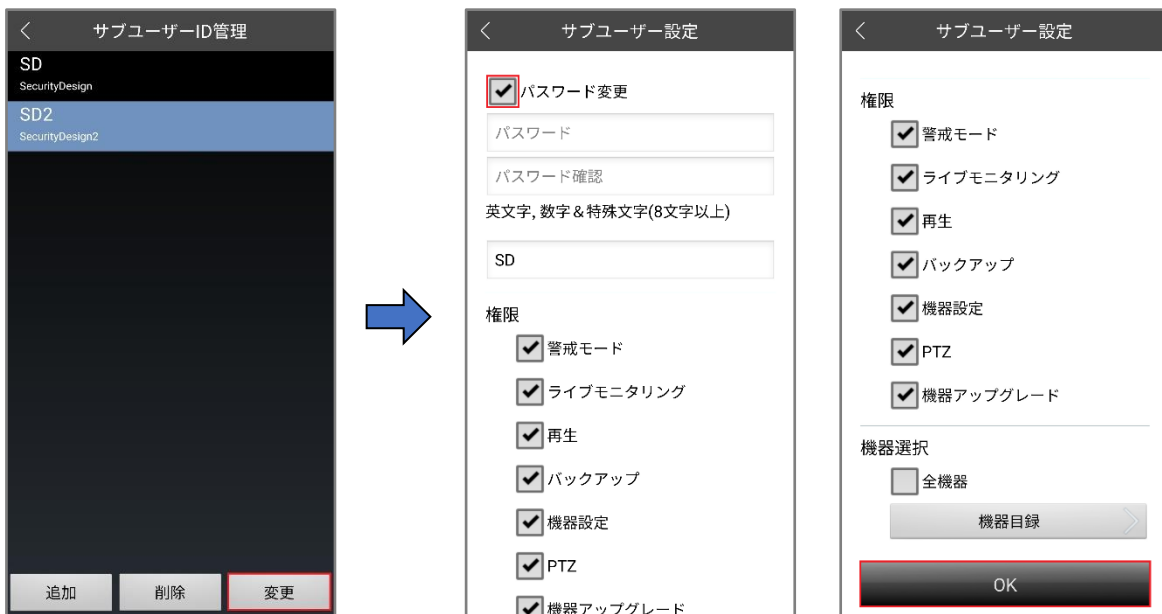
選択したサブユーザーを削除できます。再登録時には「追加」メニューで行ってください。



- ① 削除するサブユーザーを選択すると、青色枠で表示されます。
- ② 「削除」 → 「はい」を押すと選択したサブユーザーが削除されます。

### 5.8.3.3. サブユーザー変更

選択したサブユーザーの「パスワード、ユーザー名、権限」内容を変更できます。



- ① 変更するサブユーザーを選択すると、青色枠で表示されます。
- ② パスワード変更時には「パスワード変更」のチェックボックスにチェックを入れると変更できるようになります。
- ③ 変更後、「OK」ボタンを押すと変更内容が適用されます。

#### 5.8.4. 情報修正

登録時の「パスワード、ユーザー名、E-Mail、電話番号」情報を修正できます。**※IDは変更不可**



- ① ログイン時のパスワードを入力します。
- ② パスワード変更時には「パスワード変更」のチェックボックスにチェックを入れると変更できるようになります。
- ③ 「ユーザー名、E-Mail、携帯電話」の修正箇所を入力した後、「OK」ボタンを押すと適用されます。

#### 5.8.5. 管理者情報

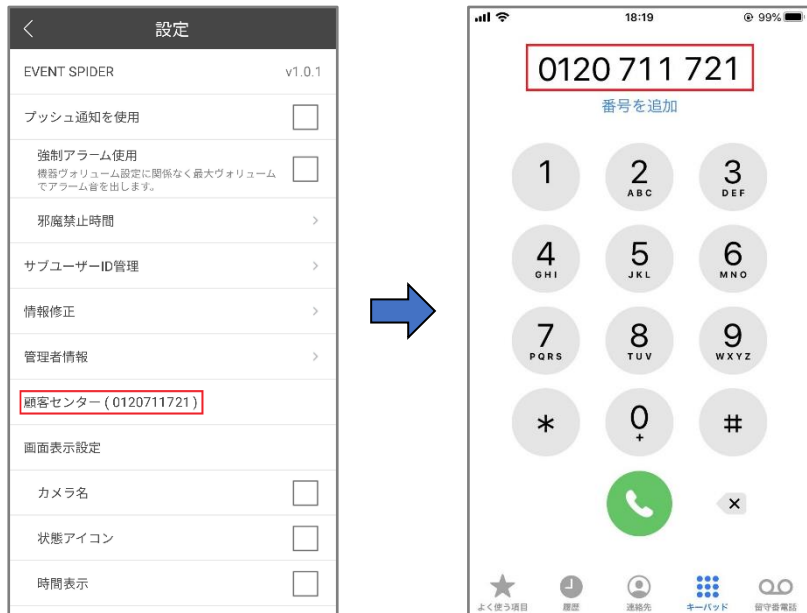
ユーザーより上位権限を持つ管理者を「登録、情報確認」する機能です。  
登録した管理者に「管理者接続許可」権限を付与することで管理者はユーザーの機器に接続することが出来るようになります。**※「管理者接続許可」はユーザーが選択可能。**



- ・ 管理者登録には管理者の「ID」が必要です。**※管理者登録は1アカウントのみ登録可**
- ・ ユーザー機器に接続する権限を付与する場合は、「管理者接続許可」にチェックを入れてください。

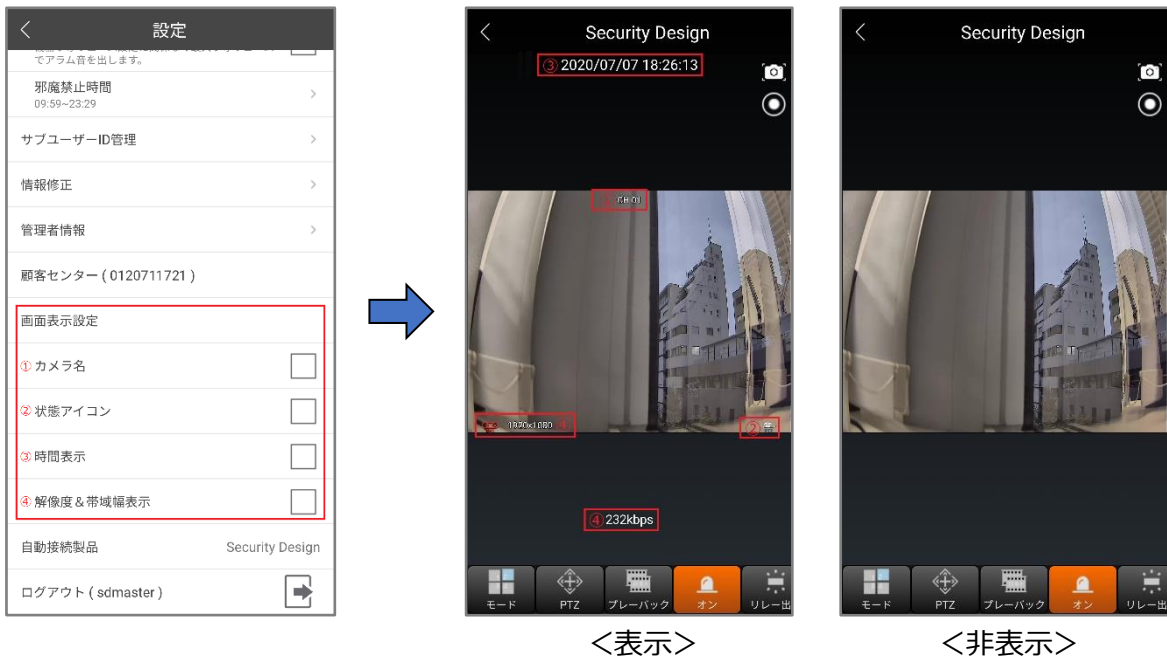
### 5.8.6. 顧客センター

該当メニューを選択すると、当社コールセンター電話番号が入力された画面に移動されます。



### 5.8.7. 画面表示設定

ライブ画面、再生画面の「カメラ名、状態アイコン、時間表示、解像度 & 帯域幅」有無を選択できる機能です。

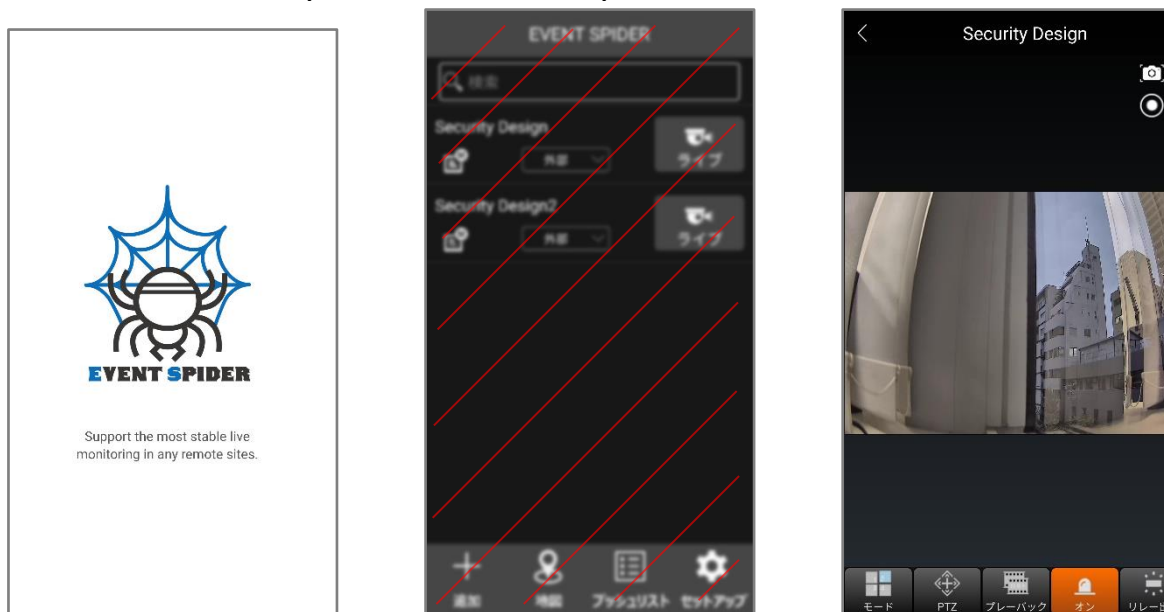


### 5.8.8. 画面表示設定

ログイン後、メイン画面(機器選択及び設定画面)を省略して、設定した機器に自動的に接続することができます。



アプリケーション起動後(自動ログイン設定の場合)、初期画面を省略して設定した機器に接続。



### 5.8.9. ログアウト

ログアウトします。ログアウト後にはログイン画面にもどります。

※ログアウト時には「ログインID、パスワード」の忘れにご注意ください。

# EVENT SPIDER